

第1部 ディスカッション

伊勢湾台風の教訓を踏まえ、
地域住民の防災意識向上のために何をすべきか

伊勢湾台風(昭和34年9月)

- 伊勢湾台風による死者・行方不明者は過去最大(全国5,098人)
- 至るところで堤防が決壊、浸水期間は長いところで120日以上



木曾三川下流部の浸水状況

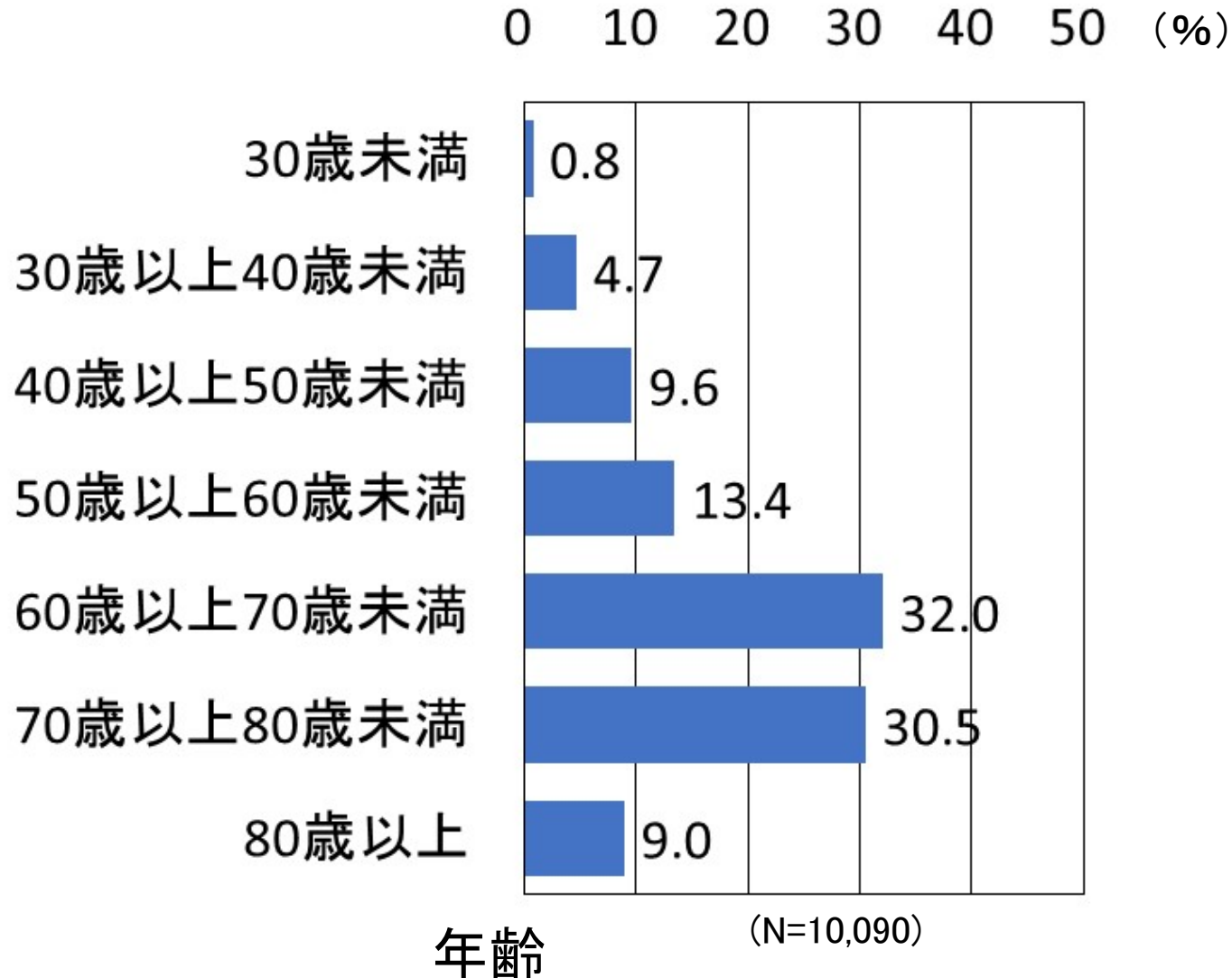
「これからの高潮・洪水災害に備えるための住民意識調査」

調査対象	8市町村の住民みなさま (高台地域の居住者は除く)		
実施時期	平成29年2月		
配布数・回収数	配布数	回収数	回収率
	117,338	11,310	9.6%

ご協力ありがとうございました

「住民意識調査」結果

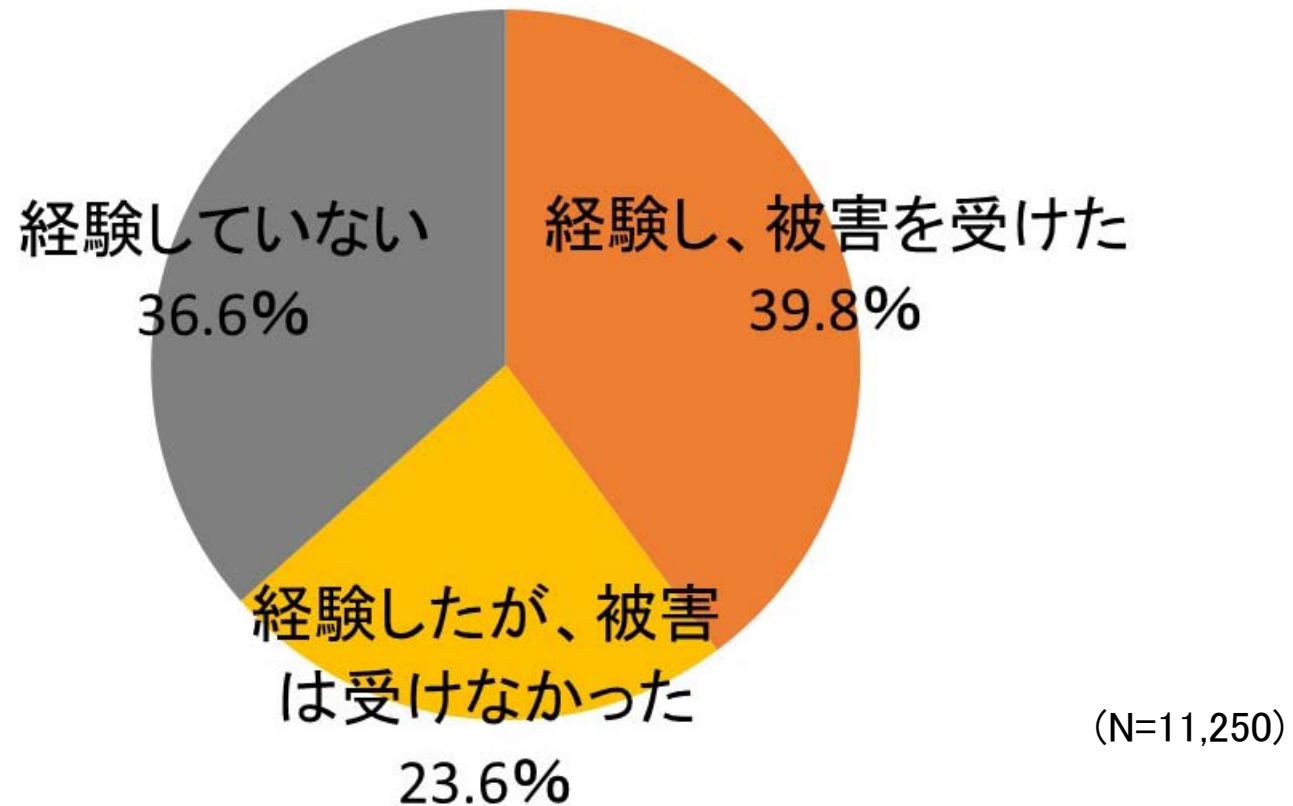
年齢



■回答者の7割が60歳以上である。(世帯毎に回答)

伊勢湾台風を経験

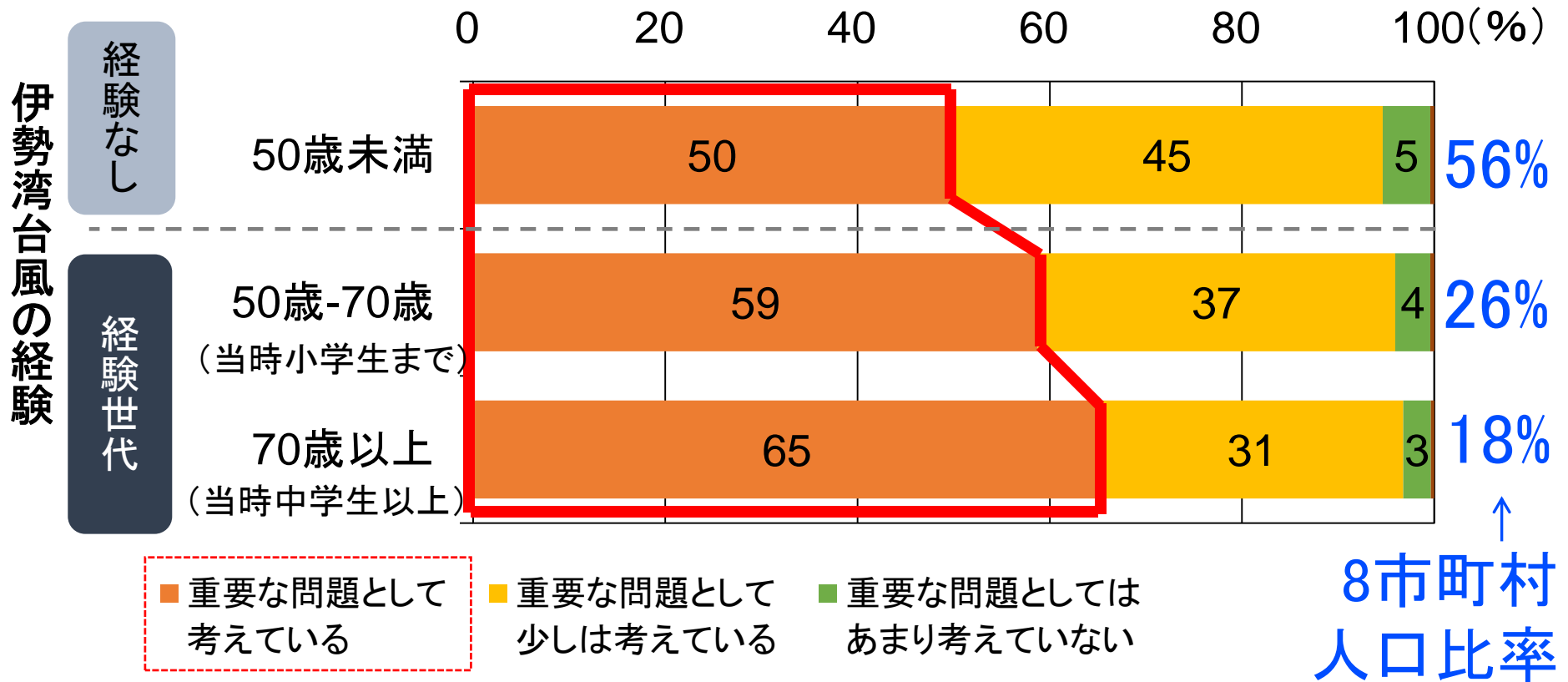
Q.あなたは、伊勢湾台風を経験しましたか？



■約4割が伊勢湾台風を経験していない。

高潮・洪水災害に対する重要度

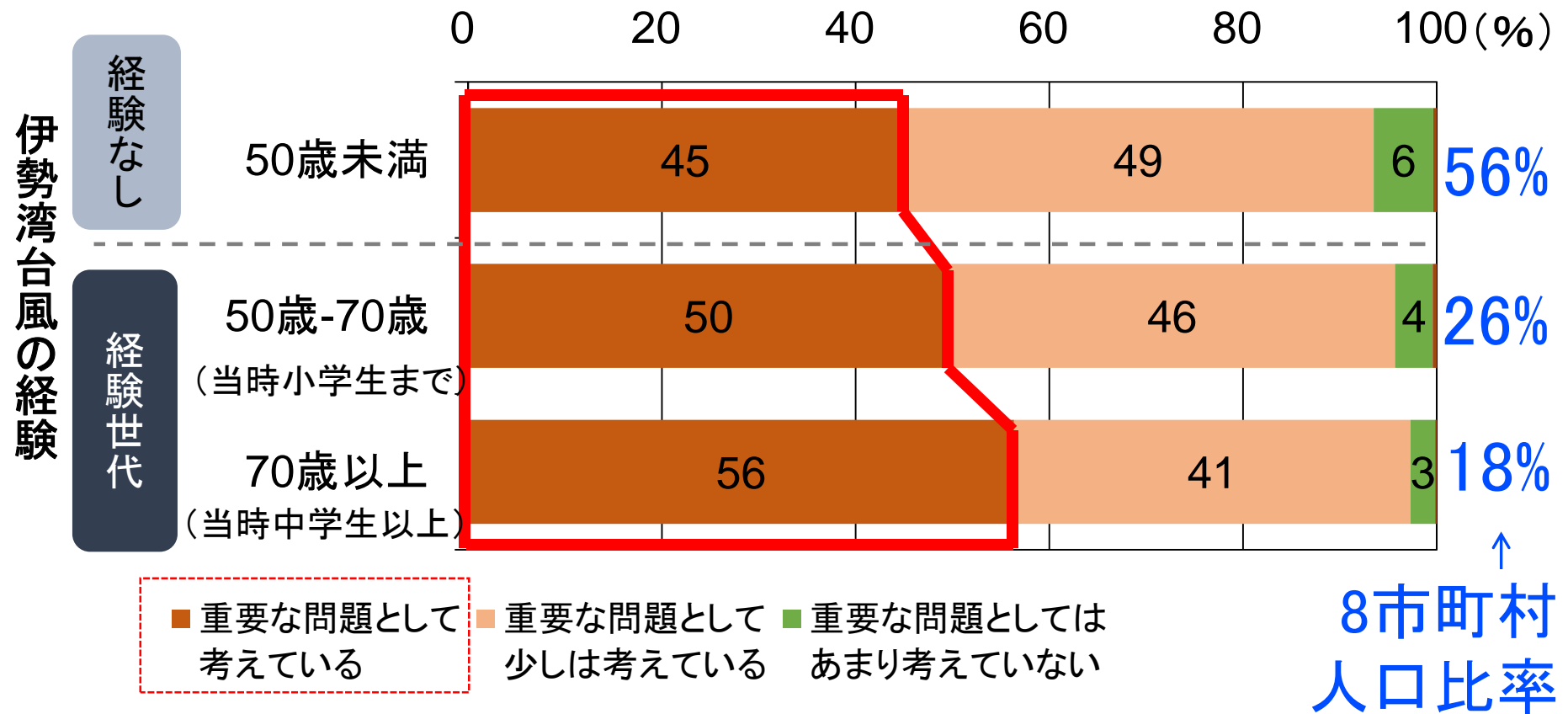
Q.地域における高潮災害や洪水災害について、重要な問題として考えていますか？



■経験世代のほうが重要な問題と考えており、当時中学生以上の人、より重要な問題と考えている。

広域避難に対する重要度

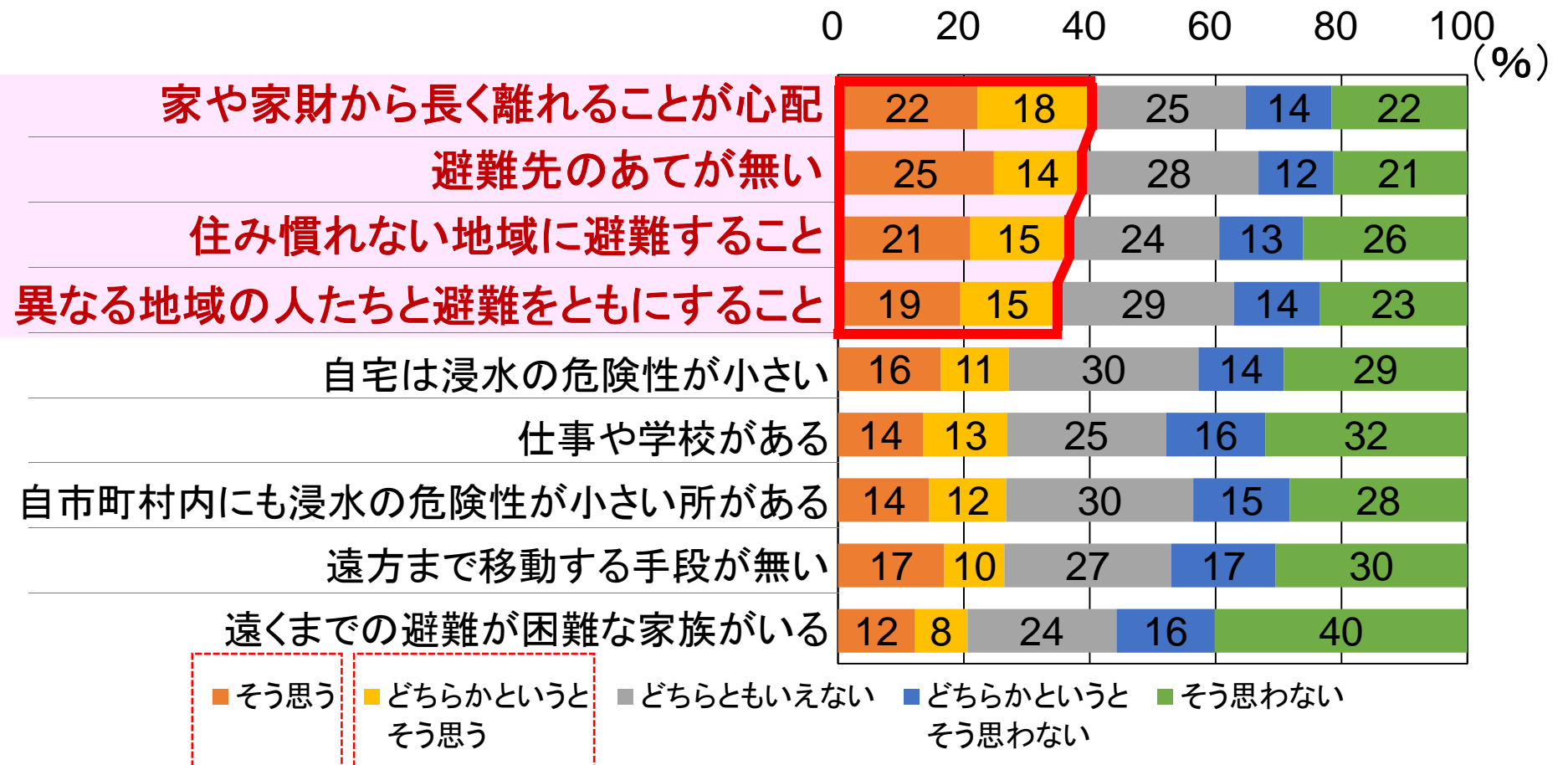
Q. 高潮・洪水災害時の広域避難について、重要な問題として考えていますか？



■ 経験世代のほうが重要な問題と考えており、当時中学生以上の方は、より重要な問題と考えている。

広域避難に対する抵抗要因

Q.広域避難をためらう理由について



■家から長く離れること、避難先のあてが無い、慣れない土地や人との避難生活に対しての抵抗が高い。